



平成21年2月27日

日野市長

馬場弘融様

倉沢里山を愛する会
百草山の自然と文化財を守る会

会長 峰岸純夫、他会員一同

(連絡先)

倉沢里山を愛する会事務局長 田村裕介

日野市百草 698-6

TEL (042) 592-5859

Email: info@alice-fm.info

百草・倉沢地区(新堂谷戸)における緑地保全に関する要望書

貴職には日野市の自然環境保護施策について、日頃から前向きに取り組んでいただき、また私たちの活動についても一方ならぬご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

近年、当地区の農家で発生した3件の新たな相続に際しても、多くの困難を乗り越えて重要な緑地の保全を実現された日野市当局の積極的な姿勢とその実績は、市民として非常に高く評価し、感謝しているところです。

しかしながら、上記の3件のうちの1件である、当倉沢地区の農家において発生した相続に際して約半分の土地(日野市百草617-2ほか)を寄付、残りの部分(同617-1)を最終的に日野市が国から買い受け市有化することを前提に物納という形で、地権者(相続人)と日野市が合意の上で緑地保全に成功したはずであった土地について、その後の経済情勢の急激な悪化に伴う市財政の逼迫のため、既定方針の大きな変更がなされ、買い受けを断念することになったとの情報を得ました。

この場所は、日野市百草倉沢里山の東のはずれ、多摩市に直接隣接する位置にあり、湧水之源とする沢に、日野市ではほとんど見られなくなったホタルが自生するきわめて貴重な場所です。近隣の百草谷戸でも現在開発が進行しており、現在ホタルをこのような形で残せる場所はここしかなくなりつつあります。またエビネ等の貴重な植物も多く自生し、さらに隣接する東京電力総合研修センターの敷地内にはオオタカの営巣も確認されているとのこと。

また、この場所は歴史的遺物も多く出土している地区にあり、折から日野市の真慈悲寺遺跡調査プロジェクトが本格的に発掘調査を実施している、中世の遺跡としても重要な場所です。

総面積約7,000㎡のうちの半分は寄付によって既に日野市の所有となっておりますが、物納された残りの半分が民間に売却され住宅開発がなされた場合、上記のような豊かな生態系に及ぼす影響は計り知れず、緑地保全を前提とした地権者の意志も無駄になってしまう可能性がきわめて大きいのが実情です。

今まで、倉沢地区全体の緑地保全に微力ながら努力し、実際に緑地を管理し、守っている私たち市民といたしましては、この場所の公有化実現に向けて何らかの方法がないものかと苦慮しております。

全地球レベルで環境問題が最重要課題となっている今日、私たち市民も行政もできることを身近なところから着実に、最大限実行することが何としても必要です。

上記を踏まえ、私たち倉沢里山を愛する会として、以下について強く要望いたします。

社会全体の経済状況や日野市の財政が非常に厳しい状況下であることは重々承知しておりますが、何卒よろしくお取り計らいいただきたく、衷心よりお願い申し上げます。

＝ 要 望 事 項 ＝

日野市は、百草倉沢地区における相続に際して物納された土地（百草617-1）について、当該土地の自然環境保全上の重要性に鑑み、相続人の意向を最大限尊重し、行政としてあらゆる手段を講じて国から買い受ける可能性を模索し、貴重な自然環境を守っていただきたい。

この件について、関連する諸機関（関東財務局、東京都、直接隣接する多摩市、東京電力㈱等）へ働きかけ、連繋してこの土地の公有化実現に向けての知恵を絞っていただきたい。

以 上

《補足事項》

日野市による買い受けについては、既に関東財務局に対して買い受け不能の意思表示がなされており、これに基づいて関東財務局は、民間への一般競争入札による売却の準備を進めております。早ければ今秋にも入札が募集される可能性が高いとの情報を得ております。こうした緊急の状況をご賢察いただき、早急に何らかの対応を取っていただきたく、重ねてよろしくようお願い申し上げます次第です。